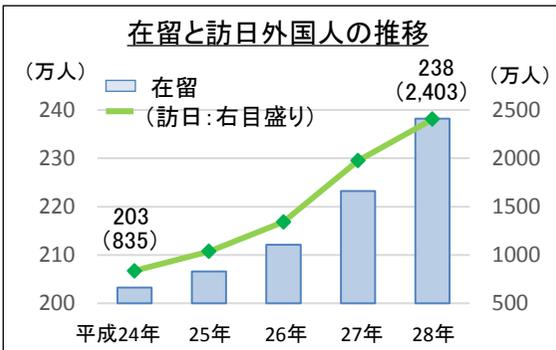


# 「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の認証取得後の受入れ対応状況に関する調査（概要）

厚生労働省 政策統括官付政策評価官室 アフターサービス推進室

## 調査の背景

○在留・訪日外国人の増加を背景として、厚生労働省では、「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)」の普及などを推進、28か所の医療機関が認証を取得(平成29年5月末現在)



## 《JMIPの概要》

1. 認証の対象となる医療機関  
日本医療機能評価機構などの第三者機関によって医療施設機能が評価されている病院または健診施設
2. 評価(審査)  
一般財団法人日本医療教育財団が認証機関として外国人患者の受入れに関する項目を医療機関の機能別に5つの分類で評価
3. 認証期間  
有効期限3年で更新審査により更新が可能

Japan Medical Service Accreditation for International Patients  
(日本における外国人患者のための医療機関認証制度)

**JMIP (ジェイミップ)** [略称]

## 調査の目的

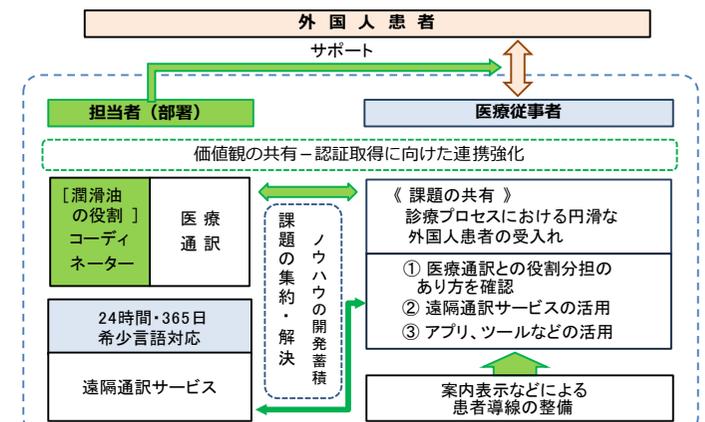
○外国人患者受入れに先駆的に取り組み、認証を取得した医療機関のうちから4つの病院を対象に以下の点について取りまとめ、参考情報として提供

1. 外国人患者受入れの組織体制づくり
2. 円滑に受入れるための取組
3. 認証取得までの経緯と効果

## 《調査先》

- ・国立国際医療研究センター病院(東京都新宿区)
- ・恵寿総合病院(石川県七尾市)
- ・りんくう総合医療センター(大阪府泉佐野市)
- ・米盛病院(鹿児島県鹿児島市)

## JMIP認証医療機関の組織体制モデル図

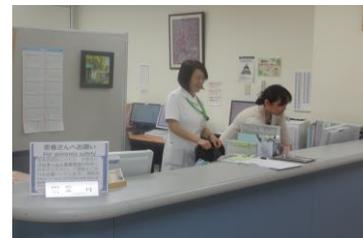


- 認証取得を契機に部署間で連携の必要性を共有
- コーディネーターが医療通訳と一体となり、診療プロセスにおける「潤滑油」の役割を遂行

## 調査の結果 - JMIPを共通基準として -

### 1. 組織体制づくり

配置された担当者が、コーディネーターとして横断的にサポートし、見出した課題を集約・共有化して解決



(コーディネーターとしての担当者)

### 2. 円滑に受け入れるための取組

#### (1) 受入れ対応

部署ごとに自力で対応可能な範囲を見極め、コーディネーター、医療通訳及び遠隔通訳サービスとの役割分担をルール化

### (2) 外国人患者サービス

医療通訳が患者と医療従事者との相互理解をサポートし、医療サービスを円滑に提供



(医療通訳(左)によるサポート)

### (3) 医療提供の運営

翻訳アプリやツールなども活用して、病状や診療方針などを正確に伝え、安心・安全に検査や治療を実施



(アプリをダウンロードしたタブレット)